

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月28日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で12 cells/mL、シャットネラ属が最高で620 cells/mL、タカヤマ属が最高で8 cells/mL確認されました。湾奥におけるシャットネラ属の密度は、湾奥で漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）を上回っていますので、十分注意してください。

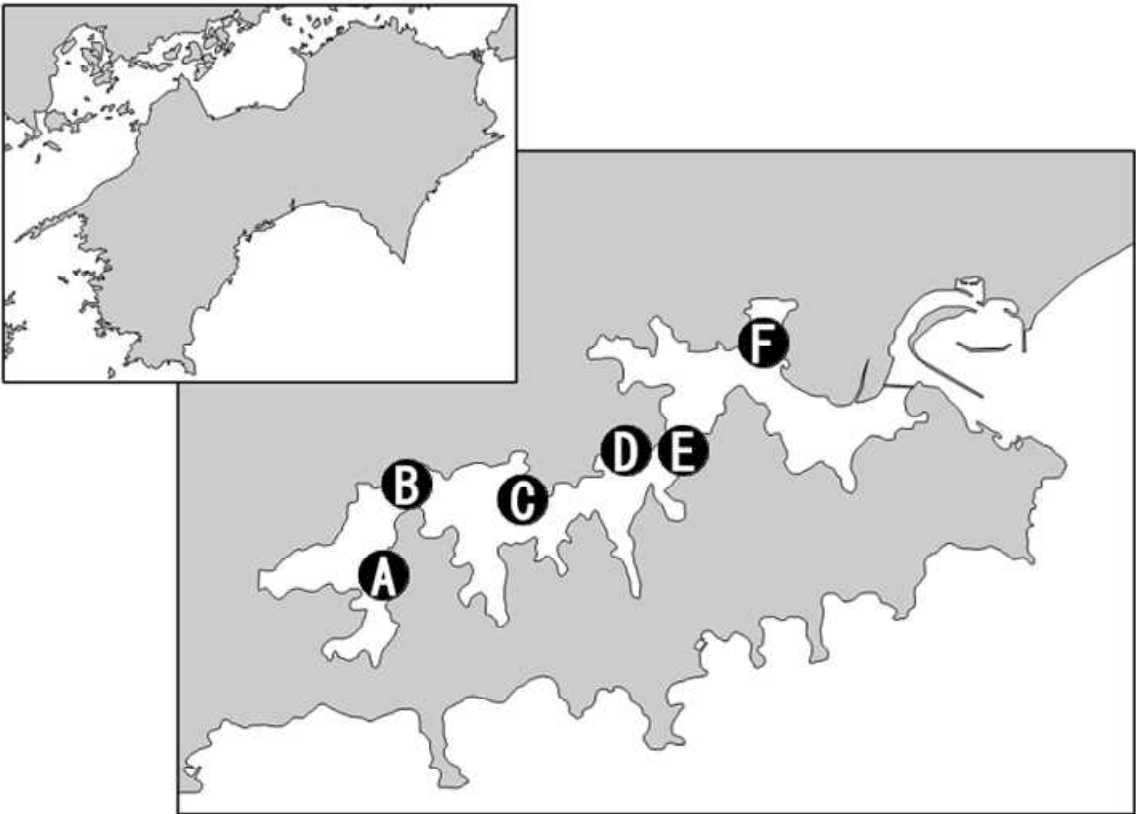
また、湾内全域の表層における水温が30℃を超えていますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (2.9m) 【09:16】	0	30.2	29.7	6.2	0	0	0	-
	2	28.7	30.2	3.6	4	132	2	-
	5	26.0	30.4	0.2	12	620	0	-
	底層 8	26.0	30.7	0.0	0	9	0	-
B 中学校前 (3m) 【09:22】	0	30.5	29.5	6.1	0	0	8	4,900
	1	30.2	29.7	6.1	0	0	3	-
	2	29.8	30.3	5.9	0	4	0	3,500
	3	28.7	30.7	5.9	3	29	0	-
	4	28.1	30.9	4.9	2	44	0	-
	5	27.6	31.0	1.7	4	25	0	1,350
	7	27.6	31.4	0.4	2	33	0	-
	10	26.4	31.0	0.2	0	2	0	1,400
	底層 11.5	25.7	30.9	0.0	0	0	0	2,300
C 目ノクン (3.3m) 【09:38】	0	31.4	29.8	6.5	0	0	5	2,950
	2	29.4	30.7	6.7	0	38	3	5,400
	5	28.7	31.5	6.5	3	31	1	6,000
	10	28.1	31.6	2.2	0	2	0	3,050
	底層 14.5	26.6	31.3	0.2	0	0	0	200
D 光松 (4m) 【09:48】	0	31.2	30.0	6.7	0	0	0	2,000
	2	30.1	31.3	7.2	1	19	0	3,150
	5	29.5	31.8	6.7	5	44	0	3,700
	10	28.2	31.8	2.9	0	0	0	1,000
	底層 15.5	27.6	31.8	1.8	0	0	0	220
E 大鹿 (3.8m) 【09:59】	0	31.0	30.0	6.9	0	1	0	3,200
	2	30.0	31.3	8.0	0	2	1	2,900
	5	29.1	32.0	6.0	2	31	4	2,500
	10	28.2	31.9	3.4	0	0	0	540
	底層 15.5	27.4	31.9	0.9	0	0	0	450
F 水試小割前 (5m) 【10:09】	0	31.3	30.6	7.1	0	0	0	4,050
	2	30.5	31.7	7.1	0	0	0	1,250
	5	29.7	32.3	6.3	0	18	0	350
	底層 7.5	29.5	32.4	6.0	0	0	0	80

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

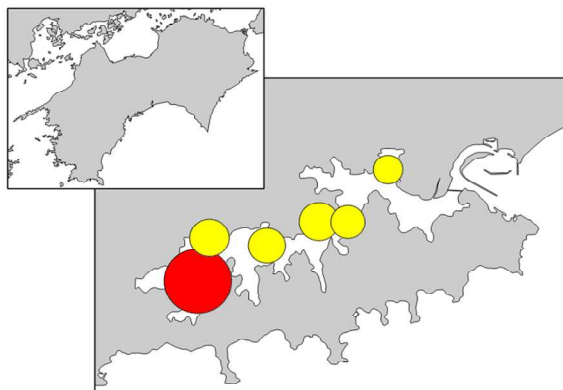
カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



タカヤマ属

最大細胞密度



珪藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0 1~9 10 100 1,000 10,000 100,000 300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

